

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第77号 2009年10月

やどりき水源林ニュース

発行 (財) かながわトラスとみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
220-0073 横浜市西区岡野2 12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
045-412-2255 URL: <http://www.ktm.or.jp> E-mail: tori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ (費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜に「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。午後1時までに、やどりき水源林ゲート前までお越しください。

寄の風景を見てみよう



40年ほど前、寄の風景は黄金色に輝く実りの田んぼでいっぱいでした。今は、減反などで田んぼも減り、こんな風景も少なくなってきました。寄のバス停から歩いていると見える風景です。

バス停から道を水源林方面に進むと洒落た建物が見えてくる。ドア横になにやら「荷風」と書いてある。はて？



里山の棚田風景を残す寄の集落。奥に見えるのは、水源林の山々、雨山。ここからの水が寄の水田を作っていました。今もその名残が垣間見えます。

やどりき水源林の帰りに立ち寄ってみたら

荷風は、喫茶店です。開店は2005年7月というから5年前。やどりき水源林パートナーのかまぼこ鈴廣のイベントに参加してこの寄が気に入ってしまったという。この空き地を見つけすぐに店を出した。オーナーの山本晋平さんは、慶應義塾大学藤沢校の出身、環境を重視した建築設計コンサルタント会社に勤務していたが脱サラ(?)ここに寄「荷風」(YADORIKI KAFU)という喫茶店を出店した。メニューはオーガニック中心で、コーヒーも自家焙煎だ。店を一緒にやっているのは山本さんのお母さん和孩子さん。メニュー素材の7割程度は自前の畑で栽培、材料にこだわる。店は意外と広く、そのスペースを松田、秦野周辺で活躍するアーティストに提供し1ヶ月周期程度で作品展を開催している。10月末日までは、「小野省三の吹きガラスの器展」11月からは写真展。



小野省三の吹きガラスの器展 10月31日まで (月火休み)

喫茶店 寄荷風店内の風景。森林作業が終わった後、ゆったりくつろいでコーヒーを味わうひとはまた格別。オーナーの山本さんと和孩子さんが優しくもてなしてくれる。ハーブティ、デザート、もちろんアルコールも供えている。

寄バス停より水源林方面へ徒歩5分、車30秒
 月・火休業 営業時間 11時30分から
 ラストオーダー 18時 TEL 0465-88-3021
 FAX 0465-88-3022
 ホームページ <http://www.0-0net.net/kafu/>



左は2年前の台風時、かなりの増水でした。比べてみると今年の台風18号の影響は幸いさほどではありませんでした。やどりき大橋手前の涸滝が見事です。台風が過ぎ去った後青空が広がり、風景が一変しました。(10月8日)

10月のトピックス
 水源林広場のカツラもそろそろ色づき始めました。台風の影響もそれほどではなく、平和な秋を迎えています。



11月の水源林
 今年は、少し紅葉の時期が早まるかもしれません。恒例の成長の森見学会も開催されま

